

東亜ディーケーケー(株)
SDS 番号: C28232H-M00216-35
製品名: 水酸化カリウム標準液 8N 100ml

作成日 2007 年 4 月 23 日
改訂日 2024 年 3 月 5 日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : 水酸化カリウム標準液 8N 100ml
カタログ No : 28232H
品目コード : HACH1530
供給者の会社名称, 住所及び電話番号
東亜ディーケーケー株式会社
東京都新宿区高田馬場 1-29-10
担当部門 : 生産部 HACH 技術課
04-2957-6152
FAX 番号 : 04-2957-9906
推奨用途 : HACH 社計器への使用に限る
使用上の制限 : 推奨用途以外への使用は禁止する

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性 金属腐食性化学品 区分 1
健康有害性 急性毒性（経口） 区分 3
皮膚腐食性／刺激性 区分 1
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 区分 1
特定標的臓器毒性（単回ばく露） 区分 1（呼吸器）
特定標的臓器毒性（反復ばく露） 区分 1（呼吸器）

（上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。）

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険有害性情報

危険
金属腐食のおそれ
飲み込むと有毒
重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
呼吸器の障害
長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器の障害

注意書き

安全対策

他の容器に移し替えないこと。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。
飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

応急措置

東亜ディーケーケー(株)

SDS 番号:C28232H-M00216-35

製品名:水酸化カリウム標準液 8N 100ml

保管 廃棄	皮膚又は髪に付着した場合：	直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
	吸入した場合：	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
	眼に入った場合：	水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
	ばく露又はばく露の懸念がある場合：	医師に連絡すること。
		直ちに医師に連絡すること。
		気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。
		特別な処置が必要である（詳細は、SDS4 項：応急措置を参照のこと）。
		口をすすぐこと。
		汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
		物的被害を防止するためにも流出したものを吸収すること。
	施錠して保管すること。	
	耐腐食性／耐腐食性内張りのある耐腐食性容器に保管すること。	
	地方自治体の規制及び環境規制に従って処分する。または都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理する。	

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：化学物質（水溶液）

化学名又は一般名 水酸化カリウム

含有量 40.0-50.0%

化学式又は構造式 KOH

官報公示整理番号

化審法 1-369

安衛法 —

CAS No. 1310-58-3

4. 応急措置

吸入した場合	：	空気の新鮮な場所に移すこと。呼吸が停止した場合、人工呼吸を行い、直ちに医師の診断、手当てを受けること。飲み込んだり吸入した場合は、口対口の人工呼吸は行わずに、バグバルブマスク等の適切な医療用具で人工呼吸を行うこと。呼吸が困難な場合は、訓練を受けた者が酸素吸入を行うこと。遅発性肺水腫を発症する恐れがある。直ちに医師の診断、手当てを受けること。
皮膚に付着した場合	：	直ちに医師の診断、手当てを受けること。汚染された衣類や靴を取り除き、直ちに多量の水と石鹼で良く洗うこと。
眼に入った場合	：	直ちに大量の水で、まぶたの下まで 15 分間以上良く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼を大きく見開いて洗浄すること。患部をこすらないこと。直ちに医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合	：	水で口をすすいだ後、多量の水を飲ませること。意識がない場合は口から何も与えないこと。無理に吐かせないこと。直ちに医師の診断、手当てを受けること。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	：	発赤、灼熱感、失明の恐れあり、せき、喘息、呼吸困難
医師に対する特別な注意事項	：	本製品は腐食性物質である。胃洗浄や催吐はしないこと。胃又は食道穿孔の可能性を診ること。解毒剤は与えないこと。声門浮腫による窒息の恐れあり。また、著しい血圧低下がおこり、湿性う音、泡状の痰、高脈圧を発症する恐れがある。

適切な消火剤	:	周囲の火災状況及び環境に応じて、適切な消火剤を使用する。
使ってはならない消火剤	:	データなし
火災時の特有の危険有害性	:	眼、皮膚及び粘膜の火傷を引き起こすことがある。熱分解により刺激性のガスや蒸気を発生することがある。
消火を行う者の保護	:	消火作業の際は、自給式呼吸器および防護服を着用する。個人用保護具を着用すること。

許容濃度 : OSHA PEL ;
水酸化カリウム : (vacated) Ceiling 2mg/m³
ACGIH TLV ;
水酸化カリウム : Ceiling 2mg/m³

設備対策 : 安全シャワー、洗眼設備、換気設備

保護具

呼吸用保護具 : 適切な換気

手の保護具 : 保護手袋、不浸透性手袋、耐化学薬品性手袋
(ニトリルゴム製手袋)

眼、顔面の保護具 : 保護眼鏡、保護面

皮膚及び身体保護具 : 適切な保護衣（長袖）、耐薬品性白衣

東亜ディーケーケー(株)

SDS 番号: C28232H-M00216-35

製品名: 水酸化カリウム標準液 8N 100ml

- 一般的な衛生上の注意事項 : 適切な保護具を着用すること。この製品を取り扱う際は、飲食や喫煙をしないこと。装置や作業場、作業服は定期的に清掃すること。眼、皮膚、衣類への接触を避けること。汚染された衣類や手袋などをすべて脱ぎ、再使用する場合には洗濯をし、内側までよく洗うこと。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。作業を中断する場合や使用後は直ちに手をよく洗うこと。
- 環境ばく露対策 : 下水系、地面、及びあらゆる水域への流出を防ぐこと。大量に漏出した場合は地方自治体へ通知のこと。

9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態 : 液体
- 色 : 無色
- 臭い : 刺激臭
- 分子量 : データなし
- 融点／凝固点 : 約-45℃; -49℉
- 沸点又は初留点及び沸騰範囲 : 約 112℃; 233. 6℉
- 可燃性 : データなし
- 爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界 : データなし
- 引火点 : データなし
- 自然発火温度 : データなし
- 分解温度 : データなし
- pH : 14 (20℃)
- 動粘性率 : 9. 623cSt (mm²/s) (0℃; 32℉)
- 溶解度 : 水 : 溶解する (>1000mg/L, 25℃; 77℉)
酸 : 溶解する (>1000mg/L, 25℃; 77℉)
- n-オクタノール／水分配係数 (log 値) : 該当せず
- 蒸気圧 : 60. 06kPa/ 450. 495mmHg (100℃; 212℉)
- 密度及び／又は相対密度 : 1. 3
- 相対ガス密度 : 蒸気密度 : 0. 62
- 粒子特性 : データなし

10. 安定性及び反応性

- 反応性 : 水接触腐食性、金属腐食性
- 化学的安定性 : 適切な条件下にて安定である。
- 危険有害反応可能性 : 通常使用下にて特になし。
- 避けるべき条件 : 長期間の空気や湿気へのばく露
- 混触危険物質 : 酸化剤、酸類、塩基類
- 危険有害な分解生成物 : 熱分解により刺激性で有毒性のガスや蒸気を発生することがある。

11. 有害性情報

- 急性毒性 (経口) : 急性毒性推定値 LD50=273mg/kg
- 皮膚腐食性／刺激性 : 混合物の皮膚腐食性／刺激性成分濃度により区分1とした。
- 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 : 混合物の眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性成分濃度により区分1とした。
- 呼吸器感作性 : データなし
- 又は皮膚感作性 : データなし
- 生殖細胞変異原性 : データなし

東亜ディーケーケー(株)

SDS 番号: C28232H-M00216-35

製品名: 水酸化カリウム標準液 8N 100ml

発がん性	:	本製品はACGIH、IARC、NTP、OSHAの発がん性物質リストに記載された成分を含まない。
生殖毒性	:	データなし
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	:	混合物の特定標的臓器毒性 (単回ばく露) 成分濃度により 区分1 (呼吸器) とした。
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	:	混合物の特定標的臓器毒性 (反復ばく露) 成分濃度により 区分1 (呼吸器) とした。
誤えん有害性	:	データなし

1 2. 環境影響情報

生態毒性	:	データなし
残留性・分解性	:	データなし
生体蓄積性	:	データなし
土壌中の移動性	:	データなし
オゾン層への有害性	:	データなし

1 3. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報 残余廃棄物	:	地方自治体の規制及び環境規制に従って処分する。または都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理する。
汚染容器・包装	:	容器を再利用しないこと。

1 4. 輸送上の注意

国内規制	
陸上規制情報	: 道路法及び毒物及び劇物取締法に従う。
海上規制情報	: 船舶安全法及び港則法に従う。
航空規制情報	: 航空法に従う。
国連番号	: 1814
品名（国連輸送名）	: 水酸化カリウム（水溶液）
国連分類	: クラス 8（腐食性物質）
容器等級	: II
緊急時応急措置指針番号	: 154
輸送の特定の安全対策及び条約	: 輸送に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、落下、転倒、損傷がないように積み込み、荷くずれの防止を確実に 行なう。

国際規制**運輸規制情報**

Proper Shipping Name	:	Potassium Hydroxide, Solution
Hazard Class	:	8
Subsidiary Risk	:	Not Applicable
ID Number	:	UN1814
Packing Group	:	II

航空規制情報

Proper Shipping Name	:	Potassium Hydroxide, Solution
Hazard Class	:	8
Subsidiary Risk	:	Not Applicable
ID Number	:	UN1814
Packing Group	:	II

海上規制情報

Proper Shipping Name	:	Potassium Hydroxide, Solution
Hazard Class	:	8
Subsidiary Risk	:	Not Applicable

東亜ディーケーケー(株)

SDS 番号: C28232H-M00216-35

製品名: 水酸化カリウム標準液 8N 100ml

ID Number : UN1814

Packing Group : II

その他の情報

本製品はケミカル・キットの一部として出荷されることがある。ケミカル・キットは以下のとおり分類される。国連分類：クラス 9（その他の危険物質）、国連番号：3316

15. 適用法令

化学物質管理促進法 (P R T R)	: 該当せず
労働安全衛生法	: 名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第 57 条第 1 項、施行令第 18 条第 1 号、第 2 号・別表第 9） 名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 第 1 号、第 2 号・別表第 9） 水酸化カリウム（政令番号：316） 腐食性液体（労働安全衛生規則第 326 条）水酸化カリウム溶液 皮膚等障害化学物質等・皮膚刺激性有害物質（安衛則第 594 条の 2 第 1 項、令和 4 年 5 月 31 日基発 0531 第 9 号、令和 5 年 7 月 4 日基発 0704 第 1 号・5 該当物質の一覧）水酸化カリウム
毒物及び劇物取締法	: 劇物（指定令第 2 条） 水酸化カリウムを含有する製剤
水質汚濁防止法	: 指定物質（法第 2 条第 4 項、施行令第 3 条の 3）水酸化カリウム
海洋汚染防止法	: 有害液体物質（Y 類物質）（施行令別表第 1）水酸化カリウム溶液
道路法	: 車両の通行の制限（施行令第 19 条の 13、（独）日本高速道路保有・債務返済機構公示第 12 号・別表第 2）水酸化カリウム 【積載数量】1000kg
港則法	: その他の危険物・腐食性物質（法第 20 条第 2 項、規則第 12 条、危険物の種類を定める告示別表）水酸化カリウム（水溶液）
航空法	: 腐食性物質（施行規則第 194 条危険物告示別表第 1）水酸化カリウム（水溶液）
船舶安全法	: 腐食性物質（危規則第 3 条危険物告示別表第 1）水酸化カリウム（水溶液）

16. その他の情報

引用文献等

- ① Hach Company SDS No. M00216 (Potassium Hydroxide Solution 8N)
- ② 化学物質総合検索システム、(独)製品評価技術基盤機構
- ③ ezCRIC+ 日本ケミカルデータベース(株)
- ④ JIS Z7252-2019 および Z7253-2019

記載内容の取扱い

この安全データシートは各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取扱いには十分注意してください。

また含有量、物理／化学的性質、危険有害性などの記載内容は情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。

なお、注意事項は通常の実施を前提としたものであり、特殊な取扱いをする場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施してください。

その他

GHS 分類は JIS Z 7252 に基づくものであり、HACH 社の GHS 分類とは異なる場合があります。取扱いの際は、この安全データシートをご参照ください。